

# あぎがわ 阿木川ダム防災操作による河川水位低減効果

独立行政法人水資源機構みずしげんきこうが管理する阿木川ダムでは、9月14日から15日の降雨により、ダムへの最大流入量約211 m<sup>3</sup>/sを記録し、増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この操作により、阿木川ダムの下流約2.5 kmにある大門地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.63m低減できました。

## 今回の防災操作

木曾川水系阿木川の阿木川ダム流域では、9月14日から15日にかけて総雨量約108 mmの降雨を記録しました。

この降雨により阿木川ダムでは、毎秒約211立方メートルの最大流入量を記録し、この時に約88%に相当する毎秒約186立方メートルの水をダムに貯留しました。

これにより、大門地点ではダムが無い場合と比べて河川水位を推定で約0.63m低減できました。

今回の降雨では、合計約102万m<sup>3</sup>(バンテリンドームナゴヤ約0.6杯分)の水をダムに貯留することで、河川水位の上昇を抑えました。

※ 今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。

令和4年9月16日

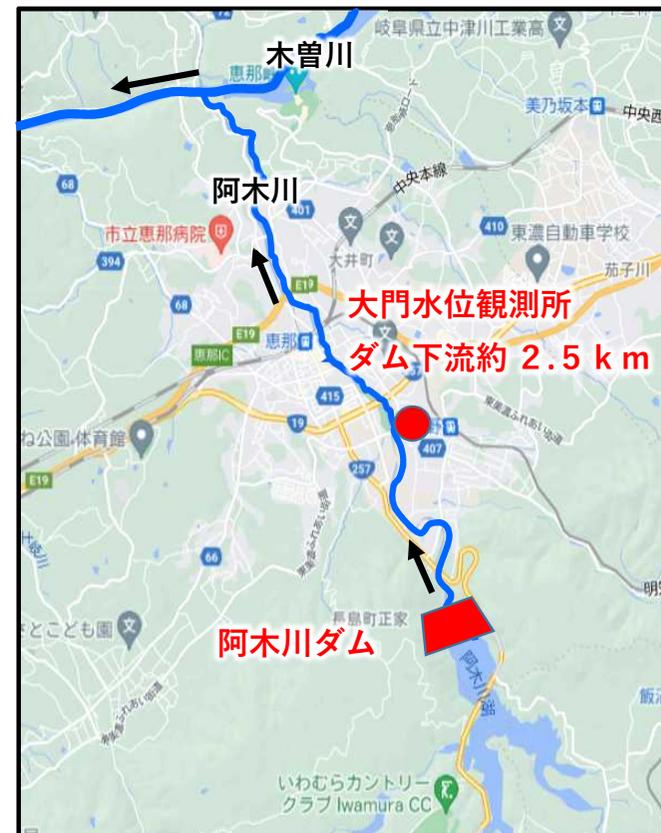
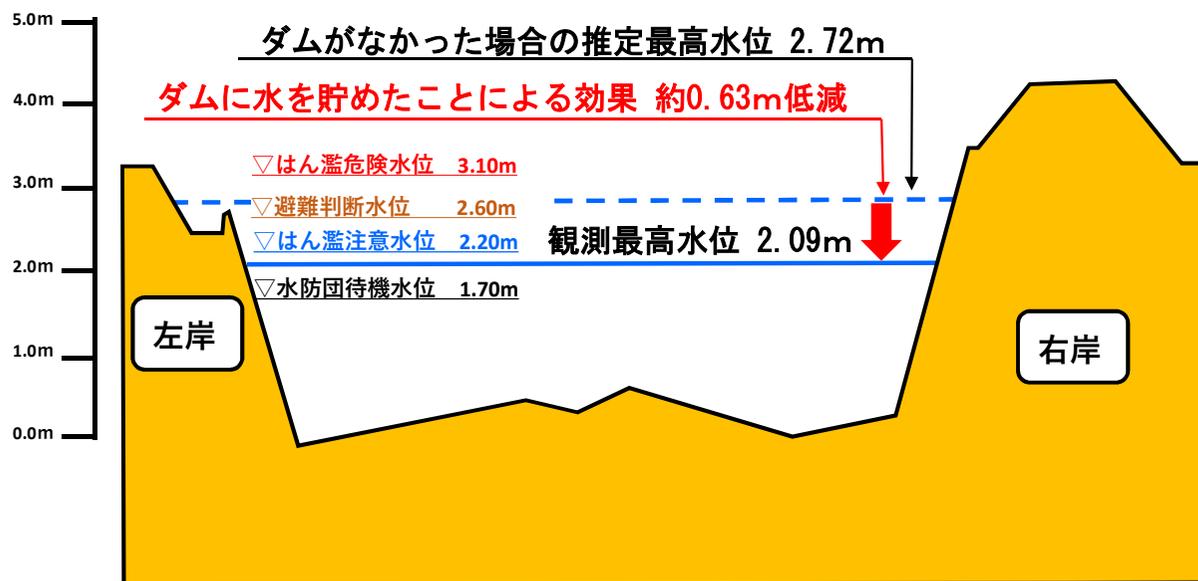


独立行政法人水資源機構

阿木川ダム管理所



## 大門水位観測所地点での水位低減効果（イメージ図）



河川水位の標記については  
国土交通省HP「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」

大門水位観測所地点 現地写真（洪水前）（令和4年5月12日撮影）



大門水位観測所地点 現地写真（洪水後）（令和4年9月15日9時45分頃撮影）



# 阿木川ダム防災操作図 令和4年9月14日～15日

